



あなたはコープ商品通？ コープ商品クイズ

2020年に60周年を迎えたコープ商品。あなたはコープ商品について、どれくらい知ってるかな？クイズに挑戦してコープ商品通に!!

Q1 答え B コープ生協バター

コープ商品第1号は生協バター。当時、商品の価格を決める主導権はメーカーにありました。これに対抗し安定的により安い商品の提供をめざす中、全国酪農協同組合連合会がバターの共同仕入れに協力してくれることとなり、1960年「CO-OP生協バター」が誕生しました。ちなみにAのみかん缶は翌年の1961年、Cのコアノンロールは1983年だよ。



1960年「CO-OP生協バター」

Q2 答え A コープミックスキャロット

昨年の3月から5月にかけて全国の組合員が投票するコープ商品総選挙を実施。コープいしかわでの2位はB骨取りさばのみぞれ煮、3位はCコープヌードル。ちなみに全国での1位はたまごスープでした!あなたの好きな商品が入っていましたか?



Q3 答え C きらきらステップ

きらきらステップは子育て中のママ、パパからの「下ごしらえは楽な方がよい」、「安全な素材を使ってほしい」などの声から生まれた商品です。他では見かけない冷凍タイプが中心で、使いたい分だけ解凍して使える、冷凍なので保存料不使用、余計な食品添加物は使用しないなどのコープならではの離乳食です。3歳前後のおやつや食事をカバーするきらきらキッズもあるよ。



1月3日から「きらきらシリーズ」が保存版カタログ「いつでも注文」に仲間入り!

3か月に1回配布。インターネット注文「eフレンズ」でいつでも見られます。

Q4 答え C 8割

コープクオリティは選んで間違いのない「おいしさ」をめざした商品です。「おいしさの理由がきらか」「他の商品との違いが明確」「100人規模の組合員モニターの8割以上がおいしいと評価」という3つの基準を満たしたもので、それがコープクオリティ。



Q5 答え ABC 全部正解

コープ商品は組合員のために生まれ、商品開発や改善には多くの組合員が関わってきた歴史があります。

A メーカーの管理価格に対抗してより安く供給するため

1960年代の高度経済成長期にはインフレや公害、メーカーによる販売価格の不正な管理などが消費者を悩ませていました。これらの課題を受けて生まれたのがコープ商品です。

利用しやすい価格だから助かるわよ



B 有害食品の不安の中で不必要な添加物の排除をめざして

1970年代の加工食品が大量に流通し始めたこの時代、安全性が疑われる食品添加物が使用され消費者を不安に陥れました。不必要な食品添加物を使用しない安全な商品を求める組合員の声に応じて不必要な添加物を除いた商品の開発を進めました。

C 組合員の暮らしに寄り添い声をしっかり受け止めるため

「多少高くてもおいしいものを」「やっぱり安いものを」「健康に配慮したものを」「産地にこだわりたい」「環境に配慮したものを」など商品へのニーズが多様化する中、組合員の声に応じて新たなコープ商品が生まれています。



「7品目を使わない」シリーズ

食物アレルギーがある人もない人も一緒に食べられる商品

小麦を使わずお米で作っためん類

7品目を使わない発芽玄米スパゲティタイプ

Q1 コープ商品の開発第1号は?

- A コープみかん缶
- B コープ生協バター
- C コープコアノンロール



Q2 コープいしかわで人気No.1コープ商品は?

- A コープミックスキャロット
- B コープ骨取りさばのみぞれ煮
- C コープヌードル



Q3 子育てファミリーを応援する離乳食や幼児食商品のシリーズ名はなんだ?

- A はじめてごはん
- B ステップごはん
- C きらきらステップ



Q4 おいしさにこだわった商品シリーズ「コープクオリティ」のマークが付けられるのは、組合員モニターの「おいしい」という評価が〇割以上必要です。何割以上?

- A 6割
- B 7割
- C 8割



Q5 コープ商品がつくられた目的はどれ?

- A メーカーの管理価格に対抗してより安く供給するため
- B 有害食品の不安の中で不必要な添加物の排除をめざして
- C 組合員の暮らしに寄り添い声をしっかり受け止めるため



コープ商品が買えるのはコープだけ!



答えは左ページ!